

See you again, Friends!

国際交流員のジャック・イングリッシュさんとジェイコブ・ショルティスさんが7月で任期を終えました。2人から町民の皆さまへお別れのメッセージが届きましたのでご紹介します。



ジャック・イングリッシュ

Jack English



【アメリカ メリーランド州
モントゴメリー・ビレッジ出身】

そして町民の皆さんにいつも助けられました。どんなに感謝しても感謝しきれません。一年間、大変お世話になりました！
また遊びに来ますので、皆さんお元気で過ごしてください。
そいで、わらはんどのみなさん、勉強をのれそれけぱって、たげおがってけ！
へばな！

ジャック・イングリッシュです。去年の8月末に来町して、約一年間、役場の企画観光課で国際交流員として務めてきました。

メリーランド州の郊外育ちで、大学の方は北東にある極寒地帯に位置するバーモント州にありました。それで、厳しい冬には慣れているつもりでしたが、青森の冬はやはり圧倒的でした。夏になった今だと、昔の夢のような感覚で時々冬の思い出に浸ります。立ち往生になりかけたこともありましたが、何とか無事春を迎えられました。大変なことも多かったのですが、雪に包まれた綺麗な景色と、冬特有の美味しい空気が大好きでした。岩木山、田んぼ、リンゴ園など、自然に囲まれた鶴田町の美しさにいつも感動しています。

コロナ渦の影響で、開催されなかった行事などが多かったのですが、子供たちや町民と一緒に体験出来たことが楽しくて、何よりの思い出です。国際交流員として町の保育園や小学校で英語を教えていましたが、英語を教えるのが初めてで、大変緊張していました。時間が経つにつれて、段々と慣れてきて、英語の先生として成長出来たと感じています。そして、子供たちに英語やアメリカについて色々教えることが出来て、うれしかったです。

鶴田町を出てから、とりあえず故郷に戻って、就活を頑張りつつ、家族や幼馴染と時間を過ごすつもりです。日本文学を勉強するために大学院に進学することも検討しています。これからも、日本語と津軽弁の勉強を続けます。

あっという間の一年間でしたが、その間、たくさん学べて、一生忘れない経験もいっぱい作れました。役場の方々、学校の先生の方々、保育園等の方々、

こんにちは、フッドリバー出身の国際交流員のジェイコブです。22歳で、去年の10月から鶴田町に住んでいます。鶴田での時間を通して、多く学べました。素敵な生徒と町民の方々と一緒に時間を過ごす機会があったことに感謝しています。日本の色々なところを旅行しましたが、やっぱり北日本が特別で日本の中で一番好きです。豊かな農地、緑の多い森林、静かな山、そして美しい海に魅入られています。生徒たちはやさしく、授業するのが楽しくて、仕事を通して知り合うのが素敵な経験でした。

姉妹都市関係の未来と、関係がより親密になることが楽しみです。鶴田の生徒がフッドリバーに行き、フッドリバーの生徒が鶴田に来られることを願っています。お互いの町が互いの町から学び続けて、一緒に経験を共有し続けられたらいいと思っています。

私でも楽しめる和食を作ってくれた「小料理ふく」さんに感謝を伝えたいです。私の食事制限を真剣に配慮してくれて、私が食べられるグルテンフリー・ビーガンの和食を作ってくれました。そして、佐々木ツル酒店のナオミさんもいつも優しく元気に話してくれて、いつも私を歓迎してくれました。仲良くなれて、家族を紹介出来たのが良かったです。皆さんと仲良くなれたことに感謝しています。

町民の皆さんが本当に優しく歓迎してくれたおかげで、この10か月間、新たな故郷のように感じました。日本の文化に入って、ここでの本当の生活を経験できました。今後ずっと覚えていく素晴らしいこともたくさんありました。人生の大事な経験になったし、今後やっていくことにもきっと役立つと思います。

次はギリシャの大学院に進学して、持続可能な農業・営業の修士号を取ります。ギリシャとその回りの地域を見るのが非常に楽しみです。修士課程を終えてから、教育現場に立って、気候変動を食い止めるのを手伝いたいと思っています。この10か月間、本当にありがとうございました。皆さんにまた会えたら、嬉しい限りです。生徒の皆さん、勉強と夢のために頑張ってください！ けっぱれ！
へばな！



ジェイコブ・ショルティス

Jacob Sholtis



【アメリカ オレゴン州
フッドリバー市出身】